

〈自主的努力項目記入書式〉

提携先	ちばみどり農業協同組合	記入日	2010/10/25
登録消費材名	ちばあさひ米 3kg・5kg、無洗米ちばあさひ米 3kg・5kg		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

・中項目4-13 農薬 04-13-01項目の化学合成農薬の成分回数減少にむけた取り組みとして、全体会議および栽培講習会の開催による薬剤の統一化を図ってきたが、旭市内では海側から山（丘）側まで地域が広がっており、雑草の種類も違う為、統一薬剤による防除が難しくなっています。

・温暖な気候のため、ジャンボタニシ（スクリミンゴガイ）による定植後の苗の食害が増えており、冬期の耕起などの耕種防除のみでは対応が難しくなっています。

・斑点米対策として・カメムシの吸汁害を減らすべく、自走式の畦畔草刈り機を部会にて6台購入し活用（21年度2台・22年度4台で合計6台が稼動）しているが、更なる適期防除が必要となっています。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

・中項目4-12 農薬04-12-13項目の劇毒物指定農薬の不使用について、全農千葉県本部の認証制度である、もっと安心米（減農薬・減化学肥料栽培米：特別栽培米基準）認証で、ちばみどり管内（旭・そうさ）での栽培暦・薬剤を統一する必要があるが、劇毒指定農薬のパダン剤を削減できませんでした。今後も削減できるか検討を行う。

・中項目4-12 農薬04-12-16項目の発ガン性並びに発ガン性の疑いのある農薬の使用について、薬剤を正会員で削除できた。

・中項目4-13 農薬04-13-01項目では、全体会議および栽培講習会の実施により、正会員については温湯消毒・微生物農薬での栽培ができた。準会員については飼料用米での温湯消毒を実施できたが、微生物農薬の使用は一部となった。次年度は準会員での温湯消毒および微生物農薬の使用をさらに拡大できるか検討を行う。

・中項目2-1 農業環境02-01-03項目について旭市環境保全循環型農業モデル事業推進協議会（愛称：サンライズプラン）の生き物調査および環境調査を継続的に行いました。生き物調査では生産者・消費者の交流が深められた。また、菜の花プロジェクト（播種から栽培・出荷まで）へ積極的に参加し、菜種の自給率アップへ若干ではあるが貢献できた。

・菜種において冬期の天候不順による成長不足が見られたため、収量は昨年度より減少しており、天候不順時の栽培管理に充分注意していき収量の減収を抑えたい。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

・中項目4-12 農薬04-12-13項目の劇毒物指定農薬の不使用について、ちばみどり管内（旭・そうさ）での栽培暦・薬剤を統一する必要がありますが、劇毒指定農薬のパダン剤を削減できるか検討を行っていく。

・中項目3-3 規格区分03-03-2項目の要改善規格での指摘事項について、ネコチノド系農薬の代替薬剤への切り替えの検討や削除できるかなど、勉強会を実施し理解を深めていく。

・中項目2-1 農業環境02-01-03項目について、旭市環境保全循環型農業モデル事業推進協議会（愛称：サンライズプラン）の活動へ積極的に参加し環境への理解を深めるとともに、生産者・消費者との交流も同時に深める。